

2006年度（後期） 学生による授業評価アンケート調査
「アンケート結果に応じて」

所属部局	人文学部		氏名	大村 光弘
講義番号	1820B271		担当科目名	英米言語文化基礎読解Ⅲ
開講曜日	水曜日	1・2時限	専門科目	
授業回数	25回	休講回数	3回	補講回数 0回
受講登録者数	26人	成績評価対象者数	25人	授業放棄者数 1人
成績評価に際し注意した事項				
<p>評価が一面的ではなく、総合的になるようにしている。受講生からの成績評価基準や方法についての問い合わせに対応する（評価基準・評価方法の開示）</p>				
報告内容				
<p>授業アンケートの実施において不手際があった。文献の分担箇所についてハンドアウトを作成し発表するという形態の授業を行っていたので、アンケートのための時間を十分にとることができなかった。バタバタと慌ただしく行ったので、当日の欠席者がほとんどいなかったにも拘わらず回収率が38%と低い結果に終わった。今回のような形態の演習授業は授業アンケートの実施に向いていないということを学んだ。</p> <p>授業の難易度が低すぎたという解答が2名あった。テキストを用いたが、これ自体は決して易しい内容のものではないと思う。また、自分の担当する以外の部分についても予習を欠かさなかったら相当の演習量になるはずであるが、当該解答者が非常に優秀な学生さんだったのか、それとも自分の責任で授業の難易度や学習量を軽減していたのかは分からないので、この結果をどう受け止めればよいか判断できない。とは言っても、このような状態では結果を次回に活かさないで、次年度の授業では受講生が確実にある程度の演習を毎回こなすような形態に転換しようと思う。</p>				